



玉城 陽平 議員

幼稚園の夏休み給食等の提供を

答 提供できるよう検討していく



問 女性の就労の支援の観点からも重要だ。幼稚園の夏休みの給食等の提供に取り組んでほしい。

教育長 提供できるよう検討していく。

広域的 コミュニティ政策を

問 地縁型コミュニティである自治会でカバーできない住民が過半数に及ぶ。地域運営組織のような広域での施策が必要だ。その推進のためのコーディネーター人材を確保するために、集落支援員などの支援策をうまく活用せよ。

町長 地域の活性化、生活支援などを目的に活動するもので、補助額が明確ではない特別交付税措置の形だが、専任で1人あたり上限485万円の財源措置がある。調査研究しながら支援に努めたい。

問 広域での地域の基礎情報の整理と地域特性に応じた議

論が重要だ。ぜひ検討してほしいがどうか。

町長 情報整理に向けての検討、意見交換の場の調整をしていきたい。

住民提案型の 事業助成金の導入を

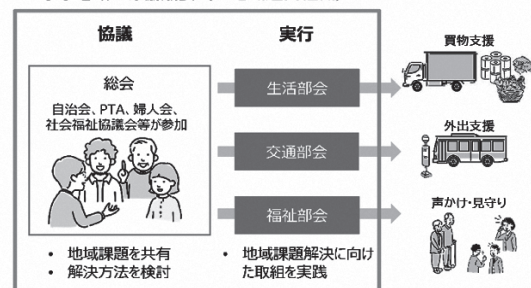
問 住民の活動を支援する町独自の助成金の設立は、既存の地域振興協会の助成金の活用が進みニーズが見えてくる

とより進んでいくか。

町長 町民の理解が進めば様々な支援を提案できる。

(一休型のイメージ)

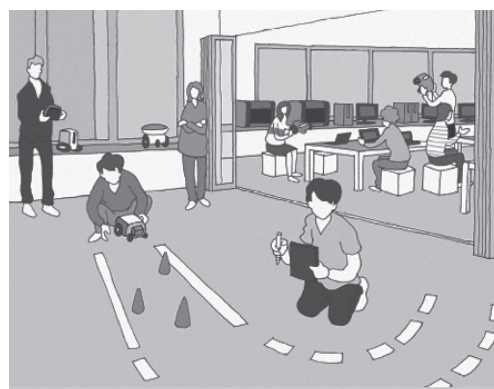
〇〇地域づくり協議会 (=地域運営組織)



地域運営組織のイメージ (総務省HPより)
※他にも分離型もある

公共施設に新しい テクノロジーの学び場を

問 これからの教育でデジタル技術を活用した学びが重要だ。機器には個人で買えないものも多くある。学びのインフラとして、ファブスペース(※)を整備してほしい。



新しい技術を活用した学びのイメージ
(文科省報告より)

教育長 調査研究していく。

(※) ファブスペースとは、デジタルそれからアナログ工作機器が利用可能な施設のこと、機器として、3Dプリンター、レーザーカッター、デジタルミシンなどの機材が挙げられる。